




# ごさまる通信



## 護佐丸歴史資料図書館 5周年企画

護佐丸歴史資料図書館は、5月30日(ごさまるの日)に5周年を迎えます!

親子で楽しむ  
かいがん かんさつかい  
**海岸のいきもの観察会** 


**とき** 令和3年5月29日(土)  
14:00~16:00 (受付13:45)

【ところ】中城村護佐丸歴史資料図書館 観察:吉の浦海岸  
【対象】村内在住小・中学生の親子10組  
【申込】5/10~5/23の受付期間に電話または、  
図書館に直接申込(先着順)

本、雑誌 /  
**リサイクル市**  
【とき】令和3年5月29日(土)  
~6月6日(日)  
【ところ】護佐丸歴史資料図書館  
1階

企画展 /  
**GUSUKU  
もうひとつの城**  
【とき】令和3年5月1日(土)  
~5月31日(月)  
【ところ】3階企画展示室

オリジナル /  
**トートバッグ  
プレゼント!**  
【とき】令和3年5月29日(土)  
令和3年5月30日(日)  
本を借りた先着53組(各日)  
※ご家族におひとつです。

歩きながら考える  
 あらかき たんぼう  
**新垣グスク探訪 !!**

**とき** 令和3年5月30日(日)  
9:30~11:30 (受付9:15)

【集合】中城村観光協会前(旧役場敷地・中学校となり)  
【対象】村内在住者20名 ※小学校高学年以上  
(急傾斜3.2キロの行程のため健脚な方向けです)  
【申込】5/10~5/23の受付期間に電話または、  
図書館に直接申込(先着順)

**フクギパンさん  
出張販売** 

【とき】令和3年5月29日(土)  
12:30~  
※売り切れ次第終了となります。



【おしらせ】  
**5月のおはなし会は  
中止**となります。

# 開館カレンダー ○ : 閉館日

5月 1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9 10 ⑪ 12 13 14 15 16 17 ⑱ 19 ⑳ 21 22 23 24 ㉕ 26 27 28 29 30 31

6月 ① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9 10 11 12 13 14 ⑮ 16 ⑰ 18 19 20 21 ㉒ ㉓ 24 25 26 27 28 ㉙ 30

※5月3日・4日・5日は、17時閉館となります。

## 新着図書



## 新聞・雑誌タイトル追加!

司書おすすめの新书推荐します!

### 一般・児童・郷土の おすすめ!

- ❁ TIME: アメリカのニュース雑誌
- ❁ 世界: 政治・経済等の総合誌
- ❁ OUTNUMBER: 県内のバスケット情報誌

	タイトル	著者名	分類
一般	星ひとみの天星術	星ひとみ	148.8 ホ
一般	青天を衝け 1	大森 美香 // 著 豊田 美加 // ノベライズ	913.6 オ
一般	BLW (赤ちゃん主導の離乳) をはじめよう!	日本BLW協会 // 著	599.3 ビ
児童	みんなでもりあがる! 学校クイズバトル① 食べ物クイズ王	学校クイズ研究会 // 編著	J 383 ミ
児童	おばあちゃんのアラッ?	長谷川 舞 // 著	E オ
児童	国谷裕子とチャレンジ! 未来のためのSDGs① 「人間」に関するゴール	国谷 裕子 // 監修	J 333 ク
郷土	ポルト vol.30 spring	編集工房東洋企画 // 発行	K050 ポ
郷土	「オキナワの苦難を知る」伝えていこう! 平和 沖縄平和学習に向けて読む本	鳥越 一朗 // 著	K210 ト
郷土	モーアシビからエイサーへ 沖縄における習俗としての社会教育	井谷 泰彦 // 著	K384 イ

その他にも、新着本が続々届いています。新着棚をみてみよう!

## 館長通信 VOL.10

## 五十肩について

去年の今頃、右肩が「五十肩」になりました。ご案内とは思いますが、「何それ?」とおっしゃるラッキーな方も居られるかも知れませんが、私の症例でご説明いたしましょう。端的にいうと肩が痛くなる病気で、腕を持ち上げるとき、ひどく痛んだり力が入らなくなったりして、ある角度以上にあがらなくなります。きっかけは不明で2~3週間程悩まされた後いつの間にか治ってしまうのが通例です。ところが今回の五十肩は違っていました。ひと月たっても治らぬどころか、指先が痺れ、首や何故か左腰にまで患部が広がってきました。足を持ち上げようとすると激しく腰が痛むため、靴下はいちいち床に転がって履き、寝返りを打つ度に目を覚ます。右腕は普通にぶら下げていても痛むようになり左腕で支えて生活する始末です。快方に向かう兆しが見られぬままふた月ほど経ったある日病院に行くことを決意しましたが、翌朝起きてみると僅かですが痛みが軽減していたのです! こうなると「明日はもっと…」と考えるのが人情で、病院に行かず今日に至ります。しかし、回復への進捗は遅く、痛みがなくなったのはつい最近のこと。結局1年近くかかりました。当館所蔵の『家庭の医学』(川名正敏監修, 2016)には以下のように記されています。

長く続く場合は整形外科を受診しましょう。ほとんどが自然に治りますが、自己判断による間違った療法で悪化させることもあります。

素直に国手を頼ったほうが良かったようです。(濱口)